



いとう和男県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

第4次産業革命で大量の失業者予想

6月定例県議会一般質問

伊藤議員 世界はグローバル化の時代と言われている。しかし今、ひたひたと日本を抜きに第4次産業革命が進んでいる。IoTの時代にあつて機械と機



壇上で一般質問を行う伊藤和男県議

械、情報と情報の中から新たなものを生み、新たな発想を打ち出すことができる。そんな時代になっていると言われている。

川崎製鉄や新日鉄は千葉小と呼ばれる製品に力を注いでいる。薄く軽い、丈夫な鉄板など他国では作れないものを生産している。かつては鉄生産は重厚長大の産業と言われてきたが、大きく様

県の産業の顔として大きな雇用をもたらした。伊藤議員は「鉄は国家なり」と言われて、産業のリーダー役を果たしてきた。今では韓国や中国もどんどん鉄を生産し、強力な競争相手になっているが、日本の鉄産業は軽薄短

香取市選出の伊藤和男県議は時代を見据えた確かなビジョンをもとに、スロガン「千葉の未来を切り開く」の実現に全力を上げています。6月県議会では登壇して一般質問を行い、産業政策や医療問題、県政運営について質問した。産業政策の質問では、進捗する産業革命によって引き起こされる雇用の減少を危惧し、雇用を創出する新たな産業について県の考えを聞きまし。伊藤県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

雇用生み出す 産業創出必要

変わっている。それに伴って雇用がどんどん減ってきている。あるいはコンビニートとしての役割も縮小に入ってきている。

野村総研の予測では、このままの雇用体質を放置していくと、10年、15年後には735万人の失業者が出ると言われている。ちなみに、現在の日本の就業者数は6339万人だから、10数%の失業者が出てしまう。

ものづくりをすればその国は反映する、雇用を生み出せると言われた時代から大きく違う方向へ舵を切らなければならぬ。そして新たな産業を生み出すように努力すれば、574万人ほどの雇用を生み出すことができる。それはコンサルティングとか営業でも今ままでと違った形の業務だそうだ。

か、担当部長の将来に対する展望、あるいは商工労働部の今の見通しを示してほしい。

伊藤議員 かずさDNAと千葉大がゲノム解析において共同研究をするということだ。病気の予防をしたり、「医療を産業にする」といった角度から考えると、このかずさDNAと千葉大の共同

また、長期的にはエネルギー構造の大きな転換が予想される中、再生可能エネルギーの活用に向け、関係企業等と研究を始めているところであり、今後こうした成長分野の取り組みを加速化させてまいります。

このため、県では、県内における既存の産業集積を踏まえ、東葛テクノプラザを拠点に中小ものづくり企業による健康・医療分野への参入を産・学・官連携により推進しているほか、規制改革などによる素材・エネルギー産業の競争力強化に取り組んでおります。

商工労働部長 本県産業の振興にあたっては、本県の強みを最大限生かすとともに、様々な技術革新も取り込み、わが国において世界に先駆けて進行する少子高齢化やエネルギーなどの社会課題に対応した取り組みを進めていくことが重要と考えています。

市民の声を県政へ

●県政や香取市のご相談はお気軽にどうぞ

いとう和男 県議事務所

〒260-0855 千葉市中央区市場町9-1
メゾンフタガワ101
TEL・FAX 043-202-2301

こうした遺伝子解析技術を診断や治療の現場で役立てるため、研究所ではこのたび千葉大学医学部と連携して「千葉大―かずさゲノム医学イニシアチブ」を開始しました。

これにより、がん疾患などに対して個人の遺伝子情報をもとに、最も治療効果の高い薬剤を選択するなど、個別化医療の進展が期待されます。県としては今後、こうした応用・実用化に向けた取り組みが進むように支援してまいります。

医療費の膨張ストップへ 千葉県発の病気予防策を

伊藤議員 医療問題についてうかがう。日本は世界で最も早いスピードで高齢化が進んでおり、医療費はどんどん増えるばかりで、医療費が37兆円、介護保険は9兆円に達している。

病院に行かなくてもいいようにするには予防に対する普段の心構えが大切。病気を予防するには運動、生活環境の見直し、食生活を考えるのが必要。今できる新たな病気予防、これを千葉県が打ち立てるべきだ。

例えば脳梗塞。脳梗塞を患っても5年10年と生き延びられるが、その間、医療費が随分とかかる。脳梗塞を患わないように動脈硬化にならないようにするなどの予防が必要だ。

そういった経費をかけない予防ができないか。もしもあれば示していただき、千葉県から医療費がかからない範囲となるような予防策を打ち出していただきたい。

保健医療担当部長 がんや糖尿病、循環器疾患などの生活習慣病をはじめとした疾病を予防し、健康を維持増進するためには、県民一人ひとりが健康づくりの大

切さを理解するとともに、望ましい食生活や運動等に関する正しい知識を持つことが重要です。

このため県では、「健康ちば推進県民大会などの啓発イベントの開催」「ホームページやリーフレットを活用した健康情報の提供」「各健康福祉センターにおける健康教室や健康相談の開催」等を実施しているところだ。

今後は、県民健康・栄養調査や生活習慣に関するアンケート調査により明らかになった県民の健康実態等も踏まえ、市町村や関係団体と連携して、効果的な予防施策に取り組んでまいります。

ページやリーフレットを活用した健康情報の提供」「各健康福祉センターにおける健康教室や健康相談の開催」等を実施しているところだ。

今後は、県民健康・栄養調査や生活習慣に関するアンケート調査により明らかになった県民の健康実態等も踏まえ、市町村や関係団体と連携して、効果的な予防施策に取り組んでまいります。

伊藤議員 がんセンターで手術に失敗したが、失敗を繰り返さないためには医師、看護師の意識改革が必要。いろいろな戦略を立てているということも聞いているが、県立病院を率いるリーダー自身が飛び込み、行ってもらいたい。

千葉県のがんセンターは技術が高く良い医師がたくさんいる。センター長とか院長に任せないで現場を見るのがリーダーである病院局長の仕事であり、局長が出ていけば医療トラブルや医療ミスが大きく減る。

そこだろうか。今、対応しようとしている戦略をうかがう。

病院局長 がんセンターでは、腹腔鏡下手術による事故発生後、病院長を本部長とする「がんセンター改



議場の自席で要望を行う伊藤和男県議

革本部を設置し、病院長のリーダーシップのもと、職員一人ひとりが、医療の安全と患者の安心を最優先した病院改革に取り組んでまいりました。

さらに今年度は、院長が各部門の責任者と膝を交えて病院の運営方針について議論し、また、病院幹部と若手職員が医療安全をテーマに自由に意見交換をする機会を設けるなどにより、これからのがんセンターが目指す姿や、そのために何をすべきかが全ての職員に浸透するよう、努めているところです。

改革を強く推し進めるため、私もがんセンターに向いて、職員と話し合っていくしたいと思います。

知事 政策アドバイザーは、地方公務員法に基づく特別職の非常勤職員であり、職員と異なる経験や豊富な人脈、高度な知識をもとに、政策の企画立案の段階からの確かな助言を行ってもらうことを目的に委嘱しています。

配置については、今後も、県政を取り巻く状況や政策アドバイザーに求める役割等を勘案しながら、適切に

香取海浜医療圏はベッド増床不可能

伊藤議員 これから始まるとうしている医療計画を見ると、香取海浜圏は計画ベッド数が約500床オーバーしている。安房地区、山武地区はすでに計画ベッド数がいっぱいということだ。それでも病院ができるものか、担当部長に聞きたい。

さらに、医療圏ごとに見ると、ベッドが足りない医療圏がある一方で、ベッドが余っている医療圏がある。余って

一般病床・療養病床について478床の病床過剰となっています。

そのため、現時点ではいわゆる特別病床を除き、当該地域においては、一般病床・療養病床について、新たな増床を行うことはできないという状況です。

基準病床数については、医療法に基づき設定しているものです。医療法施行規則に示された計算式をもとに、現在の当該地域の人口などの数値を用いて算出したものです。

伊藤議員 政策アドバイザーについては、国に働きかけるといふことであるが、どこを何をやっているのかなどを明らかにして、表に出すことを考えてもらいたい。

医療ミスやトラブル撲滅 大切なリーダーの役割

伊藤議員 がんセンターで手術に失敗したが、失敗を繰り返さないためには医師、看護師の意識改革が必要。いろいろな戦略を立てているということも聞いているが、県立病院を率いるリーダー自身が飛び込み、行ってもらいたい。

千葉県のがんセンターは技術が高く良い医師がたくさんいる。センター長とか院長に任せないで現場を見るのがリーダーである病院局長の仕事であり、局長が出ていけば医療トラブルや医療ミスが大きく減る。

そこだろうか。今、対応しようとしている戦略をうかがう。

病院局長 がんセンターでは、腹腔鏡下手術による事故発生後、病院長を本部長とする「がんセンター改

配置については、今後も、県政を取り巻く状況や政策アドバイザーに求める役割等を勘案しながら、適切に

伊藤議員 副知事

副知事

伊藤和男プロフィール

- 略 歴 ■
- 昭和22年12月佐原市生まれ
- 慶應義塾大学法学部卒業
- 27歳で佐原市議会議員(1期)
- 千葉県議会議員(8期)
- 自民党千葉県支部青年局長
- 自民党千葉県支部副幹事長
- 香取農業共済組合組合長
- 千葉県農業共済組合連合会会長などを歴任
- 現 職 ■
- 自民党 千葉県連副会長
- 県議会 健康福祉常任委員会委員

副知事

副知事の職務内容實質す

伊藤議員 県の機構の中の副知事の位置づけをうかがう。

総務部長 副知事は知事を補佐し、重要な政策や企画などを調整するとともに、部長をはじめとした職員の担任する事務を監督するものです。

高橋副知事におきましては、総務部や防災危機管理

部、農林水産部、県土整備部など、また諸橋副知事におきましては、総合企画部や健康福祉部、環境生活部、商工労働部などを担任しております。

伊藤議員 副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事

副知事